

選択：耳鼻咽喉科

I. 目的と特徴

本プログラムは、選択科研修の一つとして耳鼻咽喉科学におけるプライマリ・ケアを研修するための医師を対象とする。医学部附属病院の外来および病棟において、指導医のもとで患者の診察、治療に携わる。また期間中に経験すべき症状や疾患については随時レポートの提出が求められる。

II. 医師リスト

研修指導責任者： 松原 篤（弘前大学大学院医学研究科）
指 導 医： 佐々木 亮（弘前大学大学院医学研究科）
高 畑 淳 子（弘前大学大学院医学研究科）
阿 部 尚 央（弘前大学大学院医学研究科）
武 田 育 子（弘前大学大学院医学研究科）

III. 研修内容と到達目標

1. 研修内容

医師臨床研修制度指針に規定された行動目標及び経験目標からなる到達目標に準拠した研修を行う。

2. 到達目標

代表的な耳鼻咽喉科疾患および頭頸部領域におけるプライマリ・ケアに関する必要不可欠な最低限の基礎知識を習得し、診察、鑑別診断、治療が的確に行えることを目的とする。

3. 行動目標

- ・頭頸部領域の基本的診察手技および記載法を修得する。
 - ① 頭頸部（鼓膜、外耳道、鼻腔口腔、咽喉頭）の視診
 - ② 頸部（リンパ節、唾液腺、甲状腺）の触診
- ・頭頸部領域の基本的検査の手技を修得し検査結果の評価ができる。
 - ① 聴力検査および平衡機能検査
 - ② 鼻アレルギー検査
 - ③ 内視鏡検査（鼻腔、咽喉頭）
 - ④ 画像診断（造影 X 線検査、CT、MRI 等）
- ・以下の症状を呈する患者の診察を行い、鑑別診断、初期治療ができる。
 - ① 耳痛
 - ② 難聴
 - ③ めまい
 - ④ 顔面神経麻痺

- ⑤ 鼻出血
 - ⑥ 鼻漏、鼻閉
 - ⑦ 嗄声
 - ⑧ 呼吸困難
 - ⑨ 嚥下困難
 - ⑩ 誤嚥、誤飲
- ・以下の疾患について診断、検査、治療に携わり治療方針を決める事ができる。
 - ① 急性・慢性中耳炎
 - ② 滲出性中耳炎
 - ③ アレルギー性鼻炎
 - ④ 慢性副鼻腔炎
 - ⑤ 急性上気道炎
 - ⑥ 異物（外耳道、鼻腔、咽頭、喉頭、食道）

IV. 週間スケジュール

- 月曜日 午前：一般外来
午後：内視鏡外来
夕方：外来フィルムカンファレンス
- 火曜日 午前：専門外来（頭頸部、神経耳科）
午後：外来検査
夕方：術前カンファレンス、専門外来カンファレンス
- 水曜日 午前：一般外来
午後：外来検査
夕方：外来フィルムカンファレンス
- 木曜日 8：00：術後カンファレンス
午前：専門外来（中耳、アレルギー、難聴・補聴器）
午後：総回診
夕方：専門外来カンファレンス、英文抄読会
- 金曜日 午前：一般外来
午後：内視鏡外来
夕方：外来フィルムカンファレンス